



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

保存か展示か活用か。 コロナ禍、電力高騰が突きつける博物館の未来

ニュースメディア OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解くニュースサイト「OTEMONVIEW」。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：川原俊明)広報課が運営しています。

1 2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
38653Views
OTEMON VIEW編集部

2 2021.03.05 社会とくらし
「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。
28312Views
OTEMON VIEW編集部

3 2020.08.24 ことごとからだ
すぐそばにある葉書問題。「葉書根絶デー」に考える葉書被害について
17265Views
OTEMON VIEW編集部

4 2020.08.03 ことごとからだ
「シン・エヴァンゲリオン劇場版」公開へ。精神科医研究者が考察！エヴァは悩める若者の象徴か！？
16978Views
OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

コロナ禍の行動制限解除に伴い、平常を取り戻しつつあった博物館。そこへエネルギー価格の高騰が続き、多くの博物館が経済的苦境に立たされています。

博物館学が専門の瀧端 真理子教授による、博物館運営をめぐる厳しい現状と存続への展望に関する解説です。

(以下は主なポイント)

経営ひっ迫で困窮！？博物館の現状とは

○国公立博物館のさみしい懐事情

入館料値上げは危機回避の一手となるか？

○入館料調査が示すもの

○なぜ「入館有料」という選択をしてきたのか？

持続的な博物館の在り方を考える

○収益増を狙うか、地元密着型となるか。迫られる運営

○海外の博物館の運営手法から学べることは？

○日本の博物館の活路は寄付にある？

記事本体：<https://newsmedia.otemon.ac.jp/2778/>

	国立館	公立館	私立館	小計
2,000円以上(～最大2,200円)	4	1	0	5
1,500円以上2,000円未満	4	9	6	19
1,001円以上1,500円未満	2	17	5	24
1,000円以下(最小200円)	0	24	5	29
合計	10	51	16	77

瀧端 真理子教授「2022年11月3日を含む日本の美術館の特別展料金調査」より ※詳細データは researchmap HP にて公開

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・仲西